



# 安全互助会だより

第19号 (令和6年8月20日発行)

一般財団法人北海道高等学校安全互助会  
〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目  
第二道通ビル  
TEL (011) 252-0200 FAX (011) 252-0201  
URL <http://www.h-anzen.com/>



## 設立10周年を迎えて

理事長 海東 剛 哲

今年度は、本会が設立されて10周年を迎えます。PTA・青少年教育団体共済法の下、北海道高等学校PTA連合会を土台にして、平成26年に法人化された新しい安全互助会が発足したのです。その共済法の第1条に、「PTA及び青少年教育団体の相互扶助の精神に基づき、その主催する活動における災害等についてこれらの団体による共済制度を確立し、もって青少年の健全な育成と福祉の増進に資することを目的とする」と謳われています。設立10年の節目を迎え、3代目の理事長として、あらためて初心を肝に銘じるとともに、これまで、本会の設立や運営に関

わってこられた先輩諸氏のご尽力に心から敬意を表し、感謝を申し上げます。

さて、共済事業の対象は、学校管理下の部活動や体育の授業、学校行事、通学中などに発生したケガが中心となっています。コロナ禍以前の共済金の給付件数は3,000件を超えていましたが、コロナ禍を含め、ここ数年は2,500件前後で推移しています。

ケガの約7割が運動系の部活動中に発生していますが、現在、部活動の改革が進む中、スポーツを楽しむことの大切さとともに、生徒も指導者も休養を十分取ることの重要性があらためて問われています。

今年度も、皆様の健康と安全を第一に本会の目的をしっかりと踏まえながら、各事業に真摯に取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力、そして本会事業への積極的なご活用をお願い申し上げます。

## ■ 令和6年度 定時評議員会

5月18日(土)16時10分から、グランドメルキューール札幌大通公園において、令和6年度定時評議員会が開催され、評議員16名中10名が出席しました。

海東剛哲理事長の挨拶後、議長に我妻明評議員、議事録署名人に今井宏昌評議員、森圭一郎評議員を選任した後、議事に入りました。議事概要は次のとおりです。

- ・第1号議案 令和5年度事業報告及び収支決算の承認  
事業報告では、加入数や安全普及啓発活動について、また、給付件数の増加や給付額の減少等が報告され、承認されました。
- ・第2号議案 令和6年度事業計画及び収支予算の報告  
2月17日(土)の令和5年度第4回理事会で決定された令和6年度の具体的な事業計画と収支予算が承認されました。
- ・第3号議案 評議員の選任  
11名の評議員の辞任を了承し、新たに補充する11名を選任しました。任期は令和8年度定時評議員会終了時までです。
- ・第4号議案 役員(理事・監事)の選任  
9名の理事及び3名の監事の任期が本定時評議員会をもって満了となるため、新たに理事・監事をそれぞれ選任しました。任期はいずれも令和8年度定時評議員会終了時までです。

最後に海東理事長から今年度の役員(理事と監事)が紹介され、閉会しました。

## ■ 健康安全普及啓発活動への取組

共済事業とともに、生徒の安全及び健康保持について支援する健康安全普及啓発活動も本会の重要な使命です。

その取組の一つで、生徒を対象とした専門家によるトレーニングやストレッチの実技指導を行う講座を開催しています。これは、学校の体育の授業や部活動の場面を想定して、専門のトレーナーからの実技指導を受けながら、ケガの予防や生涯にわたる健康づくりの正しい知識と技術を習得できるようプログラムを組んでいます。

昨年度は八雲高校、寿都高校、羽幌高校、鶴川高校、奥尻高校、札幌西陵高校、旭川西高校で実施しましたが、今年度もすでに、江差高校をはじめ、2校において開催しています。

これまで指導を受けた生徒からも「股関節の柔軟性が様々な運動中のケガの防止につながっていることがよく理解できた」、「普段の生活で、立ち上がったたり座ったりする動作の大切さと、それを生涯にわたって維持するための方法を身に付けることができた」、「家族のみんなが健康でいられるよう、今日学んだことを教えてあげたい」というような声が多く聞かれ、大好評を得ています。

また、部活動指導者や養護教諭等を対象にした健康と安全に関わる講演会も実施しておりますので、今後とも多くの皆様の本事業のご活用を期待しています。



【ケガの予防／体幹筋力と胸郭・胸椎の柔軟性を鍛える】

### ■ 令和5年度共済金の給付状況

アフターコロナを迎え、給付件数は180件増加しましたが、給付額は減少しました。

共済金等給付総計	2,521件	32,430,200円
----------	--------	-------------

※ 生徒へ給付した共済金及び香料、PTA会員へ給付した共済金の合計です。

#### ○生徒への給付

死亡	0件	0円
障害	3件	1,600,000円

※ 学校管理下（スキー授業、部活動）で障害が3件発生しました。

傷病	2,517件	30,750,200円
----	--------	-------------

※ 安全互助会ではスポーツ振興センターの給付状況に応じて毎月給付しています。実際に発生した災害の件数は1,732件でした。発生状況を分析します。

#### ・場面別

学校管理下の傷病では部活動中1,156件、授業中400件、通学中117件、休憩中59件です。

部活動中では、バスケットボール、サッカー、野球で601件を占めています。スポーツ振興センターの全国統計では、バスケット、サッカー、バレーの順になっています。

部活動の次に多いのは授業中の400件で、そのうち318件は体育の授業中です。球技でのケガが多いですが、跳び箱やスキー授業などでの発生も見られます。

通学中のうち82件が自転車運転中です。また、休憩中は運動をしているときのケガが多いですが、階段の踏み外しによる転倒なども発生しています。

#### ・傷病別

骨折	521件
捻挫	192件
脱臼	73件
打撲・挫傷	246件
創傷	36件
靭帯損傷・断裂	335件
半月板損傷・断裂	76件
腱損傷・断裂	30件
歯牙破折	14件
その他負傷	9件
疾病	200件

骨折が最も多く、靭帯損傷・断裂、打撲・挫傷が続きます。疾病では、運動に起因するものが156件で最も多く、なかでも椎間板ヘルニア、腰椎分離症など腰を痛めるケースは102件と多くなっています。

#### ・部位別

足首や膝部を中心に下半身が5割を占めています。頭頸部と体幹部は3割、上肢部は2割となっています。

傷病と部位の相関のうち、骨折では手・指が最も多くついで足・指、足首、鼻と続きます。靭帯損傷・断裂や捻挫は足首と膝が大部分で、頭部の打撲も見られます。

歯科補綴	1件	80,000円
------	----	---------

※ 破折した歯を保険診療外で治療した場合に給付する制度です。

香料	4件	400,000円
----	----	----------

※ 学校やPTAの管理下でない場合における生徒の死亡に対して10万円を給付する制度です。

#### ○PTAへの給付

P 傷病	0件	0円
------	----	----

※ PTA活動中にPTA会員が被った災害への給付制度ですが、昨年度は発生していません。

### ■ 令和5年度末財務状況

#### 貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	48,226,012	54,491,955	△ 6,265,943
現金預金（普通支払備金分）	689,500	734,000	△ 44,500
現金預金（既発生未報告支払備金分）	15,889,441	15,001,333	888,108
未収金	0	0	0
前払金	0	0	0
流動資産計	64,804,953	70,227,288	△ 5,422,335
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	0	0	0
基本財産計	0	0	0
(2) 特定資産			
準備金積立金	120,127,345	100,127,345	20,000,000
責任準備金積立金	28,053,731	25,262,739	2,790,992
退職給付引当積立金	1,247,400	1,320,900	△ 73,500
特定資産計	149,428,476	126,710,984	22,717,492
固定資産計	149,428,476	126,710,984	22,717,492
資産合計	214,233,429	196,938,272	17,295,157
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
普通支払備金	689,500	734,000	△ 44,500
既発生未報告支払備金	15,889,441	15,001,333	888,108
未払金	0	0	0
預り金	316,772	205,448	111,324
流動負債計	16,895,713	15,940,781	954,932
2. 固定負債			
準備金	120,127,345	100,127,345	20,000,000
責任準備金	28,053,731	25,262,739	2,790,992
退職給付引当金	1,247,400	1,320,900	△ 73,500
固定負債計	149,428,476	126,710,984	22,717,492
負債合計	166,324,189	142,651,765	23,672,424
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産	0	0	0
（うち基本財産への充当額）	( 0 )	( 0 )	( 0 )
（うち特定資産への充当額）	( 0 )	( 0 )	( 0 )
2. 一般正味財産	47,909,240	54,286,507	△ 6,377,267
（うち基本財産への充当額）	( 0 )	( 0 )	( 0 )
（うち特定資産への充当額）	( 0 )	( 0 )	( 0 )
正味財産合計	47,909,240	54,286,507	△ 6,377,267
負債及び正味財産合計	214,233,429	196,938,272	17,295,157

### ■ 令和6年度加入状況

- 加入校 180校
- 生徒
  - ・全日制 52,934人
  - ・定時制 692人
  - ・専攻科 178人
  - 生徒計 53,804人
- 教職員 3,396人
- 子弟が在学していないPTA 63人
- 総計 57,263人

※ 加入校数は、昨年度と同じですが、加入生徒数では、1,068人減少しました。

※ 加入した生徒の父母を加えた、共済事業の対象となる総人数は約160,000人です。

## ■ 令和6年度業務計画

4月4日	公認会計士監査
4月6日	監事監査
4月20日	第1回理事会
5～6月	高P連支部総会における事業広報
5月17日	定時評議員会
6月25日	5年度事業報告書提出（道教委へ）
7月5日	道教委関係部局との懇談会
7月25日	役員変更届（道教委へ）
7月27日	第2回理事会
7月29日	全国高校安全互助会連絡協議会役員会 オブザーバー参加（横浜市）
8月20日	互助会だより第19号発行
9月28日	一般財団法人 北海道高等学校安全互助会 設立10周年記念式典
10月上旬	公認会計士監査
10月10日	全国高校安全互助会連絡協議会総会
11月	審査委員会
12月14日	第3回理事会
2月1日	「令和7年度共済事業の手引」発行 互助会だより第20号発行
2月中旬	第4回理事会
3月	7年度安全普及啓発活動届（道教委へ）
4月上旬	内部会計定期監査 公認会計士監査 監事監査

この他に、常務理事会や偶数月初旬には内部会計定期監査が実施されます。

また、秋には安全普及啓発活動として生徒や指導者等対象の事業を実施します。

## ■ 令和6年度健康安全普及啓発事業

本会の健康安全普及啓発活動の一環として、各校で実施される講演会等の外部講師の謝金及び旅費について補助する事業があります。

この事業は、平成30年度からスタートして7年目となります。

現在、大学の教授や心理士などの専門家を招聘して、心の健康や性教育に関する講話、がん教室や健康安全教室などの取組が全道18校で積極的に実施されております。

高齢化、少子化が急速に進む本道において、自身の健康とともに他者に対する健康や命を大切にす心の涵養は、きわめて大切な課題と考えております。

本会としましても、皆様方の本会事業へのご理解とご協力をいただき、学校支援に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

※実施校は増加傾向にあります。さらに多くの学校で、この制度を有効活用いただきたいと思います。

追加で応募したい学校がありましたら、事務局までご連絡ください。

## ■ 令和6年度収支予算

《収入の部》

（単位：円）

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減
会費収入	76,632,000	79,450,000	△ 2,818,000
雑収入	282,000	282,000	0
準備金等戻入額	17,625,729	17,626,404	△ 675
特定資産積立金収入	0	495,000	△ 495,000
収入合計	94,539,729	97,853,404	△ 3,313,675

《支出の部》

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減
事業費	96,720,000	97,048,000	△ 328,000
共済給付事業費	54,000,000	54,000,000	0
準備金等繰入額	24,670,551	22,501,379	2,169,172
安全普及費	4,190,000	4,190,000	0
広報事業費	2,300,000	2,300,000	0
助成事業費	1,200,000	1,200,000	0
調査研究費	1,460,000	1,660,000	△ 200,000
人件費	4,800,000	7,150,000	△ 2,350,000
需用費	3,780,000	3,720,000	60,000
雑費	319,449	326,621	△ 7,172
管理費	16,030,000	14,320,000	1,710,000
人件費	9,499,000	10,250,000	△ 751,000
事務費	3,110,000	1,650,000	1,460,000
需用費	3,200,000	2,300,000	900,000
雑費	221,000	120,000	101,000
当期支出合計	112,750,000	111,368,000	1,382,000
当期収支差額	△ 18,210,271	△ 13,514,596	△ 4,695,675
前期繰越収支差額	49,320,502	49,320,502	0
次期繰越収支差額	31,110,231	35,805,906	△ 4,695,675

## 事務局から

- ・ 共済金請求に必要な「第7号様式」が3年前に改正されています。ホームページからダウンロードして、新様式で請求してください。
- ・ 請求書の学校長・PTA会長職印の押印忘れや、継続であっても初めての請求の際には災害報告書の写しを添付することに留意してください。



## 保健室からこんにちは！！



### 「元気な毎日を送るために」

北海道野幌高等学校養護教諭  
兒玉 亜希

今年も暑い夏がやってきました。今年度、道立学校では普通教室に簡易式のエアコンが設置され、本校でも大型扇風機と併用しながらの環境で生徒たちは授業に励んでいます。熱中症対策に関する指針に基づき、マニュアルの整備や熱中症計の活用など、リスク管理を徹底するとともに、生徒たちに日頃の予防策について、保健だよりなどを活用し、安全指導を行っております。また対策グッズの準備や職員への研修など、緊急時に対応できるよう安全への十分な配慮を目指し取り組んでいるところです。

野幌高校は令和4年度からアンビシャススクールとなり、今年完成年度を迎えました。特色ある取り組みとして基礎基本的な知識や技能を高めるための授業、社会的な自立に向けた能力の育成に取り組むための探究活動などの他に教育相談活動の充実が掲げられています。自己肯定感、メタ認知力、コミュニケーションスキルの向上など課題は様々です。

“コンコン”と今日も保健室のドアをノックする音が鳴ります。「頭が痛い」と話す生徒に話を聞くと…「友人と明け方まで通話状態で寝落ちしてしまった」とのこと。“コンコン”すぐさま次の生徒が来室し、「教室に入りづらい。クラスの人が自分の噂をしている気がする」という相談が続きます。

コロナ流行前のような日常に戻りましたが、コロナ禍に経験できなかった人との関わりの影響がいまだに後遺症のように生徒たちを悩ませているように感じます。過度に他人へ依存してしまったり、他者の評価がすべてと感じてしまうなど、自己肯定感の低さがストレスや不安をより強く感じさせているようにも思います。

そんな生徒たちに保健室では少しでもポジティブな思考に置き換えられるような声かけをするように努め、生徒自身が一歩を踏み出せるよう背中を押してあげてを最終目的としてアプローチしています。時間が必要な場合もありますが、少しずつでも変わっていかうとする力を生徒一人ひとりから感じています。

今年度から本校はコミュニティスクールとしても動き始めています。学校だけでなく、地域の皆様の支援・協力を得ながら、学校生活を支えていただくこととなります。生徒たちにはこれからの学校生活で様々な経験を積み重ね、心も体も大きく成長してくれることを願っています。生徒たちが元気な毎日を送れるように、これからも健康であることの大切さを保健室から発信していきたいです。

## 令和6年度 理事・監事・評議員

### ・理事

理事長	海東剛哲	(道高P連顧問・留萌)
常務理事	村井為敦	(道高P連会長・旭川東)
常務理事	辻 麻紀	(道高P連副会長・江別)
常務理事	堀川貴庸	(道高P連副会長・帯広南商)
常務理事	野尻敦子	(道高P連副会長・札幌国際情報)
常務理事	雨池工盛	(道高P連副会長・岩見沢西)
理事	宮澤 一	(道高校長協会会長・札幌南)
理事	駒井博和	(道高体連会長・札幌白石)
理事	堀川智恵	(道高養研副会長・札幌東)

### ※ 常務理事等の業務担当

・運営総括担当	海東剛哲	理事長
・運営総括補佐担当	村井為敦	常務理事
・コンプライアンス担当	堀川貴庸	常務理事
・リスク管理担当	雨池工盛	常務理事
・理事会等議事録担当	辻 麻紀	常務理事
・内部会計監査担当	野尻敦子	常務理事

### ・監事

遠藤 卓	(道高P連監事・静内)
森下 亮	(道高P連監事・釧路工業)
蝦名竜次	(道高P連監事・寿都)

### ・評議員

橋本洋一	(道高P連石狩支部・市立札幌大通)
村田政隆	(道高P連道南支部・函館中部)
内藤道雄	(道高P連後志支部・小樽桜陽)
長内一紀	(道高P連空知支部・滝川)
天池真由美	(道高P連旭川支部・旭川工業)
我妻 明	(道高P連留萌支部・留萌)
山本和則	(道高P連名寄支部・名寄)
山野下結衣	(道高P連北見支部・北見北斗)
今井宏昌	(道高P連十勝支部・帯広工業)
吉田龍史	(道高P連釧路支部・釧路明輝)
西垣 努	(道高P連根室支部・中標津)
後藤田勇人	(道高P連胆振支部・室蘭栄)
津山 浩	(道高P連日高支部・静内)
相馬利幸	(道高等学校長協会・札幌西)
成田 豪	(道高等学校教頭副校長会・石狩翔陽)
鈴木貴之	(道公立学校事務長会・札幌東)

## 令和6年度 審査委員会委員

三戸和昭	(北海道医師会常任理事)
田西 亨	(北海道歯科医師会常務理事)
津嶋拓慈	(道高校長協会生徒指導委員長)
尾川真一	(札幌北陵高校PTA会長)
遠藤美枝	(札幌月寒高校PTA会長)